

“飯田高等学校史”編纂

=80周年記念事業・資料委員会発足=

同窓会の五十一年度事業計画の一つとして「資料委員会の設置と資料室充実」が総会において認められました。これに基づき資料委員会を編成しましたところ、その席上資料の収集は一つの目的を持って行つたほうがより効果的である。飯田高校は昭和五十五年が独立満八十年を迎えるので、これを目あてとして八十年史を編纂してはどうかとの意見があり、満場賛成しました。常任役員会にその旨を伝えて意見をきましたところ、飯田高校八十年史を昭和五十五年を目あてにして編纂することに決定いたしました。本年度の総会にはかり正式に決定したいと思ひます。

右の次第で資料委員会は昭和五十五年を目あてに飯田高校八十年史の資料の収集編纂の仕事に着手しております。今迄簡単な「同窓会沿革」があるだけで、古

い資料は既に散逸したものが多く、明治十五年の「下伊那郡立中学校」明治十七年の「長野県立中学校飯田分校」明治三十三年の「長野県飯田中学校」等古い時代のことは不明な点が多く、資料収集に困難いたしております。この際あらゆる方面に手を廻して「記録」「文献」「聞きとり」「当時の新聞」「古い写真」等により、できるだけ多くの資料を収集したいと考えております。

同窓生各位の御協力を是非お願いいたします。資料委員会の編成は次のように手配されました。

委員長 北原明治 副委員長 中田剛 委員長 沢集治、田口良三、宇野勝房

副委員長 宮島好堅、前澤政治 委員長 中川元三 副委員長 前島栄一、尾関勝

副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 小塩祿郎 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 宮島好堅、前澤政治 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 中田剛 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 中川元三 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 前島栄一、尾関勝 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 平田英夫 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 平田英夫 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 大沢和夫、林縁 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 大沢和夫、林縁 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 林縁 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 平田英夫 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

副委員長 北原明治 委員長 三石栄 副委員長 忠平茂男、新井良男、筒井泰蔵、水野都江生

“飯田高等学校史”編纂について

北原明治



北原委員長

飯田高校同窓会報

第13号

人同窓二人所刷
行学校賢行
長野県飯島編村印共同
中吉飯田

日時 八月二十一日(日)
午後一時
会場 飯田高校同窓会館
議事 会計決算・予算
会計報告・事業計画
記念講演 役員改選
役員改選

昭和五十三年度

定期総会

演題 「日本文化の生き立ち」
講師紹介 飯田市箕瀬の御出身、現在京都国立博物館長で日本古代文化の権威。奈良の國立文化財研究所長もされていた。

新校庭は九千三百四十七平方メートルの面積で、これまでの校庭でひしめきあつて授業やクラブ活動をしてきたのが緩和される。式典に先立つて修祓が行なわれ、ひきつづいて式典

をはじめ、地主・発掘調査団工事関係者等多くの方々のご尽力によりここに完成をみた。同窓生各位にも多大なるご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。御来校の折には是非御覧下さい。

わざとおす意志と根性を持つおり、好感と期待を持っています。これらのこととはよき伝統と、先輩、同輩の方々のあたかいご援助のたまものと痛感しています。このご好意に報いるべくまた玄関前、校舎周辺の樹木が昔のままながら一段と大きく立派に成長している

新校庭は九千三百四十七平方メートルの面積で、これまでの校庭でひしめきあつて授業やクラブ活動をしてきたのが緩和される。式典に先立つて修祓が行なわれ、ひきつづいて式典</

資料委員会

小委員会だより

草創の頃の人々

(第二委員会委員長) 小塩祿郎

飯田市第一号名譽市民、日夏博士は第七回であられ、第八回の木下春雄さんへ東京から「故山に一握の土地もなく何となく寂しければ、二間位の掘立小屋でも建てて夏冬旧友諸兄と旧事を談じ度希望いたし候」とあり、それが叶って晩年愛宕様を市民と二十年余を親しんで下さった。

博士は朝日新聞に飯田中学の写真入りで「吾が母校」と題して長々と書かれたこ

とがあるが第六回卒業である。その同級には林栄さんが今尚健在で、「飯田町明治三十三年飯田中学独立までの順序がわかった。

盛大だつた 高四卒二十五周年記念祭

平沢秀明

○バスケット	○新人戦県大会	○準優勝	○庭球
○インターハイ南信大会	○準優勝	○インターハイ南信大会	○県大長
○インターハイ南信大会	○団体	○三	○生
○準優勝			

お持ちの方、或はご存じの方は何とぞ御連絡下さるようお願い申します。

悪夢のような第二次世界大戦も、敗戦によってその終末を告げられたが、人心

を迎へ、昭和二十七年三月
に第四回生として高松台に
別れを告げた。

たのである。

當日、午後一時
母校校門前集合、

A black and white photograph of a young tree sapling. The trunk is thin and straight, with several small branches extending upwards. Each branch has a few small, oval-shaped leaves. The background is a plain, light-colored wall.

○野球
春季飯伊地区大会

県大長

○校友会雑誌（明治三十五年三月より）

は荒廃し食糧事情は極度に悪かつた。お仕着せの民主主義に戸惑いながら、日本の将来を如何にすべきか五里霧中の時、旧制飯田中学校最後の学生として入学したのが、昭和二十一年四月であった。途中学制改革によつて飯田東高校併設中学となり、飯田高松高校と再度改称され、四年間は何時も最下級生としての学校生活を送らされて、高校二年になつて五年ぶりに下級生

志を立て、学若し成らず
んば死すとも帰らず、と郷
閑を出た益良夫達、國破れ
て山河あり、城春にして草
木深しと、杜甫の春望にも
似た世情の中、コッペパン
や夜泣きそばのチャルメラ
のメロディにノスタイルジヤ
を感じながら、腹と心の飢
えを癒して異郷で頑張った。
又、家庭の事情で故郷に
残り、地域社会の職場、家
庭で活躍している者等が相
集い、往時を偲び、物故さ
教室や体育館、図
書館等を見学。軍
需工場の機械油の
臭いも、ガタガタ
机も、破れ窓もな
く、在学時代、窓から吹き
込む雪の寒さを防ぐため燃
やした机や腰掛が懐かしく
感ぜられ、三十年前の出来
事がタイムカプセルとなつ
て走馬灯の如く去来する。
見学を終えて、会場の福
本へ向う。定刻二時には既
に百人の学友が集まつた。

○卓球	インターハイ南信大会	優勝
○サッカー	インターハイ南信大会	二位
○剣道	春季飯伊地区大会	優勝
○南信大会		優勝
県大会(新人戦)		四位

岡谷大会	○	陸上	松尾・木下	優勝
県大会		走り跳	松下	
ハンマー投		江口	九位	
女子八〇〇m		田沢	四位	
高橋七位		九位	四位	
ハンマー投の江口は、此 信越大会出場権を得た。				



○校友会誌 36号（昭四・
三）・高校2号（昭二五
・二）
(紙面の都合上、委員会の活動の
一部を掲載しました。)



なつたのが地元の同期会高松一水会で、東京方面の高松二七会と称する同期会と連絡をとり、一年前から準備し、募金をして今日、実現を見

故学友九人と同恩師十七名の供養と冥福の読経があつた。

経過報告のあと、中島同窓会長、神戸母校教頭、母沢前県教育長からそれぞれ祝辞を受け、来賓の紹介がされた。顔を見ても名前を聞いても想い出さないが、

夜間強

夜間強歩



終了

回を数えるこの大会も夜間は今回が最後となり来年度からは新しい企画で実施される予定である。長年にわたりご協力下さいました同窓生各位に感謝すると共に今後もよろしくお願ひ致します。

(前頁下段より)
ら「高松」と改称しております。

【大学合格者数】

◇国立一期校		◇公立大(計) 17 (1)	
北大	3	早大	26 (2)
東北大	5	慶大	10)
筑波大	6 (1)	明大	19 (1)
千葉大	12 (1)	立教大	7 (2)
東大	5	法政大	11 (1)
東工大	3	中央大	13 (2)
新潟大	10	上智大	6
三重大	3	日大	24 (2)
富山医薬大	3	青山学院大	13 (4)
京大	8 (8)	東京理科大	19 (2)
岡山大	3	津田塾大	5
2名	お茶の水、名大	東京女子大	6
	奈良女子大	立命館大	23 (3)
1名	東京芸大、浜松	同志社大	7 (3)
	医大、金沢大、	その他	209 (24)
	大阪大	(計)	398 (46)
	(計) 71 (5)		
◇国立二期校		◇短期大(計) 29 (1)	
茨城大	4 (1)		
埼玉大	4 (1)		
横浜国大	3		
静岡大	5		
山梨大	7 (2)		
信州大	30 (5)		
2名	山形大、東京外語大、東京学芸大、名工大、岐阜大		
1名	北海道教育大、秋田大、東京農工大、電通大、富山大、愛知教育大		
	(計) 69 (9)		
◇各種学校		【就職者数】	
		県内(
		就職	男 女
		就職者	17 9
			(13) (7)

進路狀況

(五十一) 年度

なお本年も四十三名の希望者あり、五月六日、上記三人の先生方にお願いし、スマークトしました。

就職者数 1

浪人学級

外国旅行をなさつたF氏
御夫妻。保険金の受取人を
ご主人は飯田高校同窓会、
奥様は高森町となさつた。
ところで無事帰宅されたの
で、この話、実を結ばず、
何よりでした。

先生は、「弓箭の国」——信濃戦国史——を、本年十二月末に発刊されるとか。仁和寺。

と卒業生の並々ならぬ御協力に接することが多いのですが、この度新グランドが完成しましたが、この実現に寄せられました各方面から御尽力、ただただ有難く感謝申し上げます。

＝小委員会だより＝

第4(文献)委員会経過報告

年一月二十二日（土）午後一時より飯高同窓会館において、各卒業者が出発として三名の代表者が出席、北原委員長より第四（文献）委員会（委員二十三名）を編成するよう指示あり別室にて直ちに協議編成する。（委員長名略）	(1)長野県教育史Ⅱ (2)校友会誌の整備Ⅱ (3)新聞関係記事Ⅱ (4)下伊那郡制史 (5)長野県政史 (6)同窓生伝記著書等Ⅱ (7)長野県史（議会史） (8)長野県政党史 (9)深志高校九十年史Ⅱ (10)深志高校九十年史Ⅲ	(1)「南信新聞」調査記録を五名 (2)「南信新聞」調査年次別分担表作製に決定 ○三月三十日（土）第四委員會於飯田図書館 九名 (1)「南信新聞」調査記録 (2)当日欠席者については、事務局より分担表を配布 来る九月までに、各自にて調査記録し（飯田図書館）（昭和十六年以降は信毎新聞による）水野氏迄提出することに決定。 (3)尚別に小委員会（(1)～(9)について）は、班長は班員と適時協議して、これも又九月末日迄に一応調査記録を完了するよう決定す。
○二月十六日（水）飯田図書館午後一時	出席者一人一年次別にて調	査記録することに決定、直ちに作業にとりかかる。
四時 出席十		○三月二日（水）第四委員會
		○三月三十日（土）第四委員會

査記録することに決定、直ちに作業にとりかかる。
○三月二日(水)第四委員会
(1)「南信新聞」調査記録を

事務局

だ
よ
り

事業をひかえて、各位の持会費に依存しているわけですので、今一段の協力を頼ります。

は、幾つかの同級会が共催する形で始めたら如何でしょうか。その場合も事務局へ御連絡ください。

一編集後記

(四) 意見	(二) 住所異動
資料委員会は今年中には資料収集が高校段階にも及ぶものと予想されますが、そうなると高校の各回から委員が推薦されることになります。前轍を踏まないために、うのですが、推薦手順が幹事のところで処理されていて御本人は会長の委嘱状が届いてびっくりという例もある、主体性が持てないといふ。	いた数は昨年十二月から今日までに百通以上にもなりました。原簿の訂正とお礼を各個に申し上げませんでしたが、ここに御厚情に対してお礼申し上げます。
尚、振替用紙で入金の際、異動された時は備考欄へ一言書き添えて下さると幸甚です。	会費の見返りとして支部補助を増額せよ、との意見が多いことは前号でも申し

けします。地元にて、また異郷にあってお読み戴くこの会報が、皆様の母校をより愛着あるものとして温かく包んで戴けるようになると願つて毎回企画発刊している心算ですが、さらに会員一人一人のものとなるよう考えて、参りたいと思つています。御気付のこと、御活躍の様子何なりと御寄せ下されば幸甚です。

えない御苦勞の数々、有難く存じています。資料収集につきまして各位の絶大な協力をお願いしたいと存じます。

母校に勤務しておりますと卒業生の並々ならぬ御協力を接することが多いのですが、この度新グランドが完成しましたが、この実現に寄せられました各方面から御尽力、ただただ有難く感謝申し上げます。

会員皆様の今後の御健勝を祈念しております。